

- 問1 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため | 2. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため | 3. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため | 4. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため |
|--|---|--|---|
- 問2 中部地方の地形的特徴について述べた次の文のうち、フォッサマグナに関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 新潟県から静岡県にかけて本州を南北に分断するように位置し、地質学的な境界となっている地帯。 | 2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈からなる、標高3000m級の険しい山々が連なる地域。 | 3. 関東地方から九州地方にかけて、日本列島を東西に長く貫いている巨大な断層。 | 4. プレーートの沈み込みによって太平洋側に形成された、水深が非常に深い海底の溝。 |
|--|---|---|---|
- 問3 新潟県の農業産出額の構成において、米の割合が非常に高く、野菜や果実などの割合が低い背景を説明したものととして、最も適切な記述はどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 信濃川などの大河川の下流に広がる越後平野が、日本を代表する米単作地帯となっているため。 | 2. 広大な山地や原野を利用した畜産業が発達し、米の生産額を上回る収益を上げているため | 3. 年間の日照時間が非常に長く、温暖な気候を利用した果樹栽培が農業の中心となっているため。 | 4. 大消費地である東京に隣接しているため、米よりも鮮度が重視される野菜の生産に特化しているため。 |
|--|---|--|---|
- 問4 北陸地方において、冬季の降水量が夏季の降水量を大きく上回る要因について説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 冬に吹く湿った南東の季節風が、太平洋側から吹き込み、奥羽山脈を越える際に大量の雪を降らせるため。 | 2. 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。 | 3. 年間を通じて吹く偏西風が、冬になると勢力を強め、大陸の乾燥した空気を直接日本列島へ運ぶため。 | 4. 日本海側を流れる寒流の影響により、冬季に大気が不安定になり、低気圧が停滞しやすくなるため。 |
|---|--|---|--|
- 問5 北陸地方の石川県、能登半島北部に位置する輪島市では、木の器に漆（うるし）を塗り重ねて作る伝統的な工芸品が生産されています。経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されている、この漆器の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|----------|
| 1. 輪島塗 | 2. 仙台筆筒 | 3. 南部鉄器 | 4. 天童将棋駒 |
|--------|---------|---------|----------|
- 問6 長野県の野辺山原などの標高が高い地域では、夏の平均気温が約20度前後という涼しい気候を活かした農業が行われています。平地での生産が困難な7月から9月にかけてレタスなどを収穫し、出荷時期をあえて遅らせる栽培方法を何といいますか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 二毛作 | 3. 近郊農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問7 愛知県に位置し、東京（羽田・成田）や新千歳、那覇、福岡、鹿児島といった全国の主要都市と、年間旅客数が100万人を超える大規模な航空路線で結ばれている空港として正しいものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 中部国際空港 | 2. 大阪国際空港 | 3. 成田国際空港 | 4. 関西国際空港 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問8 航空ネットワークにおいて、自転車の車輪の軸のように国内外の多数の路線が集中し、乗客が目的地へ向かうための乗り換え拠点として機能する大規模な空港を何と呼びますか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------------|---------|---------|
| 1. 地方管理空港 | 2. 国際貨物ターミナル | 3. ハブ空港 | 4. 不沈空母 |
|-----------|--------------|---------|---------|
- 問9 中部地方を南北に縦断するように位置し、「日本アルプス」と総称される3つの山脈の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 奥羽山脈・北上高地・阿武隈高地 | 2. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈 | 3. 鈴鹿山脈・紀伊山地・四国山地 | 4. 飛騨山脈・越後山脈・関東山脈 |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
- 問10 愛知県の渥美半島など、中部地方の太平洋側では、温室やビニールハウスなどの施設を効果的に利用して、キャベツや電照菊、メロンなどを生産する農業が盛んに行われています。このような、人工的な環境を整えた施設の中で農作物を育てる農業形態を何と呼びますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 施設園芸農業 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 抑制栽培 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問11 新潟県沖の日本海に位置し、中央部に山地と平野が広がる島では、地域の歴史や自然環境を活かした取り組みが盛んです。かつて金や銀が採掘された鉱山跡の歴史遺産として世界文化遺産登録を目指すとともに、農業において「朱鷺（とき）と暮らす郷」といった独自の名称を持つ米の生産に力を入れている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|--------|
| 1. 隠岐諸島 | 2. 対馬 | 3. 佐渡島 | 4. 淡路島 |
|---------|-------|--------|--------|
- 問12 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから | 2. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから | 3. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから | 4. 製品の鮮度を維持する必要があるため、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから |
|--|---|--|---|
- 問13 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------|--------------|
| 1. キャベツやレタスなどの野菜 | 2. ブドウやモモなどの果実 | 3. 米 | 4. 豚や鶏などの畜産物 |
|------------------|----------------|------|--------------|
- 問14 レタスの市場への入荷量を月別に分析すると、長野県産は7月から9月にかけて急増し、年間で最も多い出荷時期を迎えます。これに対し、冬から春にかけては茨城県や静岡県などの入荷量が多くなります。長野県がこのような出荷時期の調整を行っている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬の温暖な気候を活かし、ビニールハウスを用いて出荷時期を大幅に早めるため | 2. 夏の涼しい高冷地の気候を活かし、平地での生産が減少する時期に市場へ供給するため | 3. 化学肥料や農薬を一切使わず、自然のままの環境でゆっくりと時間をかけて育てるため | 4. 大消費地である東京などに近いため、輸送費を抑えて新鮮なうちに大量出荷するため |
|---|--|--|---|